

**滋賀県レイカディア大学 同窓会**  
**甲賀・湖南支部だより** 第27号

滋賀県レイカディア大学  
同窓会 甲賀・湖南支部  
発行責任者 竹内 重行

目次

支部長に就任して	(33期 園芸 竹内 重行)・・・P2
支部長退任にあたって	(31期 地文 高山 雅史)・・・P2
本部表彰(米寿)受賞者	(22期 園芸 宇留野 可澄)・・・P3
甲賀・湖南支部定期総会	(33期 園芸 竹内 重行)・・・P4
特別講演「受け継がれる甲賀のお祭り」	駒井 文恵・・・P5
甲賀・湖南支部理事会報告	(34期 園芸 浦田 好造)・・・P6
グラウンドゴルフ同好会活動報告	(33期 園芸 田村 光男)・・・P8
ボランティア活動部報告	(33期 園芸 高田 信男)・・・P7
里山ハイキング同好会活動報告	(32期 生活 大塚 勝義)・・・P9
寄稿;最近の言葉は難しい	(34期 園芸 北阪 佳央)・・・P10
平成31年度本部定期総会	(33期 園芸 竹内 重行)・・・P12
編集後記	(31期 地文 森井 幸三)・・・P13



古城山頂上より西側を望む

## 支部長に就任して

33期 園芸 竹内 重行

自分の持ち時間をいかに有意義に過ごすかと考えていた矢先に職場の先輩から、交流の幅を伸ばす居場所として「レイカディア大学」を紹介されました。

会社の上下関係や年齢の垣根がなくフランクに付き合いができ、そして、長年培われたあふれる知恵、知識、技能を持つ人が集まり、未だに多くの学びを享受し、又、発見があります。

おかげで、毎日の時間を楽しく時には忙しく過ごしています。

元号が「令和」となった記念すべき年に同窓会の支部長に就任しました。



当初は同窓会に違和感を持っていましたが、理事の皆さんと行動を共にすることで新しい生きがいややりがいを求めさせられています。

会員の皆様が何かの形で楽しみを持っていただくことが出来ればと思い、地域別交流会の開催や同じ趣味を持ち又は興味の引ける同好会の立ち上げが会員の参加の機会と選択を増やすことと考えます。



私は同窓会会員以外の卒業生とボランティアで交流があります。その一つは「ささゆりの保全と育成」です。去る6月6日の京都新聞に「ささゆり群生復活へ着々」という見出しで掲載されました。また6月8日の毎日新聞にも「かれんに揺れてササユリ見ごろ」という見出しで掲載されました。活動の成果が実りとなりやりがいの一つとなっています。

最後に年を重ねるにつれ気短で短絡になりがちですが、気長にゆっくりと、ときには少しだけ刺激をいただきながら一年間務めさせていただきます。

## 支部長退任にあたって

31期 地域文化 高山 雅史

この5月に新年号の令和元年となりました。皆様も区切りとして新たな踏み出しを考えていらっしゃる方もおられると思います。今回の総会で私も支部長を退任することになりました。

当支部も出来るだけ会員参加のイベントや、日頃の同窓会活動の状況をHPでオープン、また同好会活動を通じて親しみやすさのアップすることを考えましたが道半ばでした。

全会員参加の水口岡山城のボランティア活動は荒天にたたられ、今年になってやっと3回目で実施することが出来ました。幸い晴天にも恵まれ皆さんの協力で無事終わりました。

また当支部の活動をレイカディア同窓会ホームページにアップしていましたが、昨年からHP担当者の努力でページが一新され、会員に支部活動の情報が行き渡るようになりました。この中には同好会活動も実施毎に掲載され今後の活動が楽しみです。

しかし現状は本部同窓会全体の会員数が伸びず、毎年 of 学生募集が定員に満たない学科があり、このため今年は大学と同窓会を含めた三団体が共同で募集資料配布をして学生募

集をすることにしました。入学者が増えなければ同窓会員は増えません。スタートからやることになりました。募集活動だけでなく大学自体の世間への周知も兼ねています。日々の活動の積み重ねが継続に繋がると思っています。

役員をはじめ会員の皆様には過去1年いろいろご協力いただきありがとうございました。

引き続き当支部をご支援くださるようお願い申し上げ退任のあいさつとします。

## 本部表彰（米寿）受賞者

本年度の甲賀・湖南地区よりの本部表彰対象者（米寿）者は下記の方々です。

友野 幸雄様 (26期 スポレク 湖南市)

宇留野 可澄様 (21期 園芸 甲賀市)

田畑 嘉重様 (18期 園芸 甲賀市)

友野様、宇留野様」は本部での表彰式に出席されました。

おめでとうございます。

ここに、宇留野様をお願いした感想文を掲載して、祝福したいと思います。



### 長寿慶祝の受賞に思うこと

21期 園芸 宇留野 可澄

この度は、レイカディア大学同窓会の長寿者として、祝詞と記念品を賜り厚くお礼を申し上げます。(白寿2名、米寿32名)。この年まで大病もせず健康が維持できたのは自分でもなにか信じられない気がします。毎日「今日も生かしていただいている」ことが実感として分かるようになりました。「もう少し自分にできることで社会参加に努めよ」という思し召しなのかと思ったりしています。

65歳ぐらいの同窓会だったと思いますが、友人が「クラスの中で君が一番早くこの世をオサラバすると思っていたが・・・」、「自分もそう思うよ。柳に雪折れなしというじゃないか」と言葉を返したことを覚えています。私は生まれつき華奢で、強健な体とは程遠かったのです。まして88歳の米寿まで健康でいられるとは思ってもみませんでした。

しかし最近とはみに特に知力・体力とも衰えを自覚して歯がゆい気持ちです。私と同年の有名人では作家の五木寛之、登山家の三浦雄一郎、女優の岸恵子、元知事の石原慎太郎等は現在もそれぞれの分野で現役として活躍されています。もっと凄い人は平成29年に惜しくも逝去された日野原重明氏で105歳まで現役の医師で活躍されていました。個人差がありますので、暦年齢によって一律にいうことはできないのではないかと思います。

私がレイカディア大学に入学したのは園芸科21期生の(平成12年・2000年)で早二十年近く経過しています。必修講座で各分野のエキスパートから高齢化社会の動向や生き方について教えていただきました。それらの内容はレイカディア大学紀要を紐解くと、これからの高齢者社会をどう生きるかということが問題意識となりました。

高齢者社会を生きていくには「健康」「お金・経済」「生きがい」の三つが重要ではないかと思えます。もちろん「健康」は第二の人生を支えるための前提条件であることには間

違いありません。しかし「健康」で「お金」があれば豊かな人生かというところとは言い切れません。人間はパンのみでは生きられません。他の人達との関係で自分の活動が何らかの形で役立っているという実感、言い換えると「生きがい」といえるでしょう。その典型的なものがボランティア活動ではないかと思います。

ボランティア活動というと福祉の介護等の「福祉ボランティア」を考えがちですが「生涯学習ボランティア」もそれと並んで多くの人々が参加しています。

「全国ボランティア活動の実態報告書」(1988年)によりますと最も多いのは「福祉ボランティア」の「介助等の活動」(24.7%)で主に老人ホーム等の施設での活動です。次に多いのは「生涯学習ボランティア」の「スポーツ・教育・文化の活動」(18.4%)です。続いて「相談・交流」(14.9%)。「地域活動・環境美化」(11.3%)。「手話・朗読・点訳」(6.8%)等が次いでいます。

現在のような社会情勢下では高齢者は非常に必要な存在になってきます。前期高齢者75歳以下の80%~90%は比較的元気な人たちです、この人たちは時間、知識、体力、財力。気力もある存在なのでその意欲と能力に応じて社会参加の機会を提供していけば高齢者社会の課題のいくつかは解決するのは可能ではないかと思います。今や高齢者は社会の厄介者でなく社会の財産であり、多大なエネルギーを持った価格車として位置づけられるでしょう

## 甲賀・湖南支部定期総会

平成31年4月9日 水口中央公民館

平成31年度 甲賀・湖南支部 定期総会は、平成31年4月9日に、水口中央公民館において、会員124名中28名の参加で開催されました。

開会宣言後、亡くなられた方に対する黙とうを行い、レイカディア大学賛歌斉唱の後、平成30年度事業報告、会計報告が了承されました。続いて平成31年度事業計画、予算案が発表され、了承されました。最後に新役員の紹介が行われました。

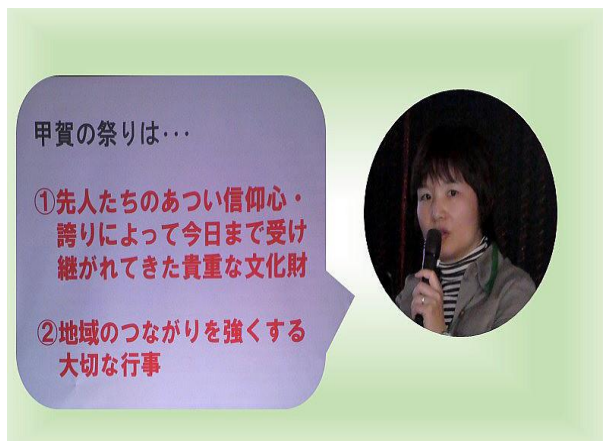
竹内新支部長より、本年度は会員124名が参加したくなる「楽しい同窓会」であるべく、支部内の地域毎の懇親会の開催、新しい各種同好会の立上げ等を計画していきたいとの就任挨拶がありました。



## 特別講演：受け継がれる甲賀のお祭り

特別講演は、甲賀市土山民俗資料館の駒井文恵氏による「受け継がれる甲賀のお祭り」という演題の下に、約1時間、多数のプロジェクター写真と共に非常に興味深いお話をしていただきました。

“祭り”と”祭礼“の違い、水口曳山祭、ケンケト踊り、祇園行事、流鏝馬、太鼓踊り、奴振の由来、祭りの現状と今後の課題等、甲賀市在住者でも意外と知らないことが多く、非常に有益な講演でした。



< 講演要旨は次の通りです。 >

まつり：感謝や祈り、神仏や祖先をまつる行為。

民族学者 柳田国男による祭りとお祭りの区分

祭り：祭事を営む人（施主・頭屋）と、それをつかさどる人（神官・僧侶等）のみで行われる儀礼。 例：オコナイ、山の神祭り等、当事者のみで内々で行う。

祭礼：当事者と関わりのない見物人も参加。

例：ケンケト踊り、太鼓踊り、曳山祭礼等、見物人の視線を前提とした、華やか美しく、楽しみの多いもの。

甲賀の華やかな祭りは、都の風流の祭りに影響を受けたものが多い。

風流：華やかに飾り立てた意匠で人の目を驚かせる趣向。

甲賀市内の祇園祭：甲南8、信楽4、水口2、土山2、甲賀1 敬17箇所を確認。造花や団扇を奪いあう行事。疫病退散の祭り。京都の祇園祭りと同じ（伝染病は夏におこりやすく、その原因は厄神の仕業と考えられていた。）

甲賀の太鼓踊り；湖北・甲賀地域に広く分布。7か所を確認。

太鼓踊りの多さは、近江の人々がいかに水不足に悩まされたかを物語る。

近江盆地の河川は、地質的に常に水不足に悩まされた。

雨乞い又はそのお礼に踊らされた風流踊り。

油日神社：油日岳を御神体とし、山頂に岳神社が祭られる。

平安時代の書物「三代実録」に記載の国史現代社。

甲賀武士の拠り所「甲賀の総社」

文化財の宝庫：室町時代建築の楼門、回廊、本殿、拝殿

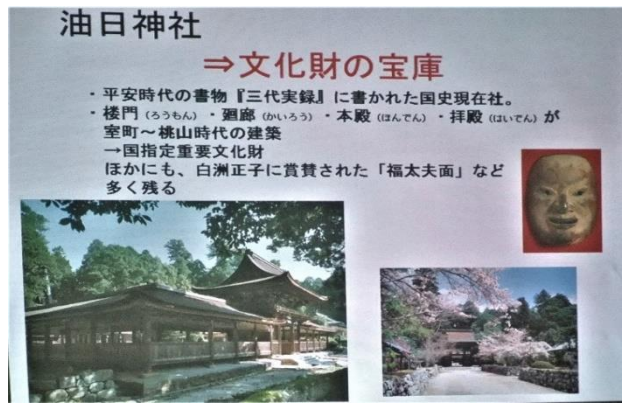
祭り：神社に奉納すると同時に人と人をつなぐ役割。民俗芸能の伝統文化継承。

心の成長：郷土に誇りをもつことに大きな役割。

祭りの現状：祭りの担い手は「人」

少子高齢化、生活スタイルの変化に伴う祭りの担い手不足が課題。

一度途絶えた祭りを復活させるのは至難の業



(記：支部長 竹内 重行)

### 甲賀・湖南支部理事会報告

5月17日、水口中央公民館で開催した理事会での報告事項は次の通りです。

- 令和元年役員体制
 

支部長	竹内 重行
副支部長	浦田 好造
副支部長(兼会計)	山崎 美智代

○新支部長あいさつ

同好会活動・各地区別の懇親会等により、活発な支部活動を行いたい。

○協議事項

- ・各事業の確認：総会での事業計画案を参考に審議。
- ・5月22日(水) ボランティア活動の日 水口岡山城。
- ・6月29日 平和堂水口店、石部店 42期生募集
- ・今年の作品展は休止。新人歓迎会は「サントピア」で実施。
- ・日帰り研修旅行
- ・支部主催グラウンドゴルフ大会(年2回)
- ・8月：大学祭への演芸出演
- ・11月：地域活動発表会への参加
- ・支部だより発行(年2回)

○報告事項

- ・長寿者(米寿)慶祝 対象者3名
 

田畑	嘉重氏	(18期)	園芸	甲賀市
宇留野	可澄氏	(21期)	園芸	甲賀市
友野	幸雄氏	(26期)	スポレク	湖南市
- ・同好会の発足：7月に仮称「青春18切符の旅同好会」参加者を募集。

(記：副支部長 浦田 好造)

## ボランティア活動部報告

3年越し、水口古城山はやっと私たちレイカディア大学同窓会のボランティア活動の取組を受入れてくれました。

集合時間の1時間前から、水口古城山の登山口に到着し、レイカディア大学同窓会の黄色い旗を立て掛けて、次々と到着されるみなさんを誘導し、忠魂碑前広場に参加者17名が集合 甲賀市歴史文化財課の伊藤航貴氏から作業場所などの指示を受け午前10時から11時30分まで草刈り・清掃作業を行いました。

登山道は夏に向かって竹や草木が繁茂している部分を草刈り機や鎌などで刈取る人、ゴミ掻き、竹ぼうき等で草や枯葉を集める人とみるみる綺麗になりました。



甲賀市の担当さんも、私たち高齢者に気を使っただけか、無理のない範囲での作業エリアを指示して下さいましたのでしょ... 11時30分には与えられた作業を終え、少し休憩を取った後、伊藤氏の案内を受けながら、全員で、古城山山頂を目指して城の大手道を登りました。

最高のお天気で眺望も良く、山頂、西の丸跡で全員での昼食は「何処どこが見える！ あすこは〇〇だ！」などと会話も弾み時間があっという間に過ぎました。

午後から、山頂の本丸跡で全体の説明を受け、更に、東櫓台・西櫓台の発掘成果の説明を学びました。また、今日は山頂から遠くは伊吹山、霊仙、御池、近くは綿向、雨乞、御在所、鎌ヶ岳等、琵琶湖も比良山系更には彦根や八幡山等、各地の城山が見えると案内頂きました。この後、本丸北面下に残る石垣2カ所に案内頂き、使われている石の種類、積み方等について学びました。

限られた時間での学習会でしたが、今回、同窓会の皆さんとのボランティア活動をしながら色々な情報交換と伴に、改めて国史跡に指定された水口岡山城の築城から破城と大きな変遷・歴史ある史跡であることを知る機会となった1日でした。

皆さん有難うございました。

(記：ボランティア活動部 高田信男)



## 里山ハイキング同好会活動報告

平成31年4月5日(金)

### ～小関越えで大津・京都の花見～

〔行程〕

J R 大津駅⇒三井寺観音堂⇒長等公園⇒小関越え～峠の地蔵堂～普門寺⇒山科疎水⇒  
山科毘沙門堂⇒J R 山科駅

当日は少し汗ばむほどの気温でしたが、よい天候に恵まれたおかげで快適なハイキングができました。

小関越えは長等公園の横から入り、峠にある小関地蔵にお参りして山科側へ少し下り左の道に入ります。そのまま下り途中にある明治時代の疎水のトンネル工事用の立坑跡を見て山科側の入口に出ました。山科疎水の桜は満開でした。

疎水の堤を西へ安朱橋まで行きここから山手に向かい毘沙門堂に行きました。

毘沙門堂の見事な枝垂れ桜を見て山科駅から帰途につきました。

各所の桜も八分咲きから満開で咲き誇り、山の景色を楽しみながら良い保養になりました。

(記：里山ハイキング同好会 大塚 勝義 )





## グラウンドゴルフ同好会 “第1回” 活動結果報告



新年度を迎え会員一同、心機一転での活動開始。

同好会年間行事として、年6回の大会を開催計画。

会員数は31名。会員内容は男性23名、女性8名。最高齢

者の年齢は男性88歳、

女性83歳でハツラツ高齢者集団。

さて、今年度の初戦であり平成元号最後の戦いでもある大会を去る4月19日(金)に開催。戦いの場所は水口町の野洲川グラウンドゴルフ場。集合時間の午後1時15分には意気揚々の会員が参上。

当日は年度初めの月であったことから、種々の行事と重なり参加者は16名と参加率は約50%と少なめ。大会前に今年度の行事予定と大会方法について説明。大会開催日については、偶数月の第3金曜日(当日雨天の場合は第4金曜日)に年6回開催。開催時間は毎回、午後1時15分とする旨の説明。

大会方法については、年間総合成績で順位を決める。

成績上位3位まで豪華賞品を贈呈。ハンディ方式とし前年度上位3名には大会毎にハンディ3を加算。この栄えあるハンディ対象者は木村栄子氏、木田勝彦氏、小林龍朔氏。

なお、今年度から各大会優勝者には記念カップを進呈。最後にプレーも大事だが親睦と体力づくりが目的です。一日楽しんで下さいで説明終わり。

さあ！プレー開始。当日は春日和に恵まれ、絶好のコンディションのもとで16名が4組に分かれてプレー開始。

前回のプレーした時とホール位置が変更されており、「ありゃまあ！」と慎重と突撃プレー。悲鳴と安堵の音が、あちらこちらから聴こえる。あっという間にプレー終了。

成績結果はホールインワンを夫々二つされた、森本源一氏が優勝、準優勝には白川一枝氏、3位にはハンディ3の木田勝彦氏。

今回の結果から無念さを感じられた方は次回頑張って下さい。

次回の第2回大会は6月21日(金)です。入会されていない方も是非お気軽にご参加下さい

(記：グラウンドゴルフ同好会事務局 田村 光男)

(寄稿) 最近の言葉は難しい

34期園芸 北阪 佳央

一昨年(2017年)の新語・流行語大賞は、「インスタ映え」と「付度」であった。

「付度」という言葉はめったに使わないが、森友・加計問題の国会議論でよく聞いていたのでその意味は凡そ検討がつく。わからなくて腹立たしい思いをしたのは「インスタ映え」である。

仕事をリタイヤしてから、毎日の時間に余裕が出来るので、新聞はよく読むし、テレビもよく見ているが、「インスタ映え」はわからない。調べてみると「Instagramに写真を投稿した際に、見栄えが良かったりして映えること」とあり、インスタとは、instagramの略で、写真や動画を中心としたSNSアプリである。投稿された写真を見た人は、その写真が気に入ったら、「いいね」というハートのボタンを押す。そのハートがたくさん付くような写真が、SNS上で受けがいい、評価が高い写真となり、そういう写真を「インスタ映え」する写真と呼んでいるということである。



昨年(2018年)の新語・流行語大賞は、「そだね」であった。平昌五輪の女子カーリングで、日本代表チームLS北見が銅メダルを獲得した時、選手同志が試合中に声を掛け合う際に北海道弁の「そだねー(そだね)」が流行語となり選出された。これはよくわかる。

しかし、本大賞のトップテンの一つに「eスポーツ」というのがあった。これは私には意味不明。検索すると「electronic sports」の略称で、電子機器を用いて行う娯楽競技、スポーツ全般を指す言葉だそうで、複数人のプレイヤーで対戦するゲームをスポーツとして解釈して「eスポーツ」というそうだ。コンピュータゲームが、スポーツ?と思うが、世界大会が日本で開催されたそうで、これを知らないあなたは「時代遅れ」と注釈していた。更に腹立たしい思いが増長してくる。

こんなことがあった時、たまたま三省堂 現在新国語辞典 第6版 が昨年(2018年)の10月に出版され、追加された言葉が話題になっている事を知った。

追加された言葉は、「草」「バズる」「寝落ち」「沼」「ググる」「ポチる」「スクショ」「エゴサーチ」「ゆでがえる」「インフルエンサー」「シンギュラリティ」・・・等で、ネット用語がほとんどである。

「草」、「沼」、「ゆでがえる」の意味は、「植物の軟らかい茎」、「湖、池より小さい水深5m以下の水溜まり」、「ぬるま湯にいと世の中の出来事に気づかず、そのうち死んでしまう」という環境変化に対応することの重要性を説いている」程度の事はわかるが、それ以外の意味は分からない。

一つひとつ調べてみることにした。皆様はお分かりでしょうか?

「草」: 笑っている・笑えること⇒WARAU, WARAU, WARAU で、WWW で草が生えているように見える

「バズる」: 話題が一举に広まる・拡散すること⇒元々は「buzz」、この意味は(ハエ等が)ブンブン飛び回るという意味、これをみんなが話題にしているという意味合いで使われるようになった

「寝落ち」: 何かをしている最中に、いつのまにか眠ってしまうこと

「沼」：漫画・ゲーム等で好きになったら、抜け出せない沼のようにどんどん深みにはまっていく様子

「ググる」：Google で検索すること

「ポチる」：ネット上の通信販売で、商品を購入するため購入ボタンを押すこと

「スクショ」：スクリーンショットの略で、コンピュータのモニタ又は出力デバイスの画面に表示されたものを写した画像のこと

「エゴサーチ」：自分の名前、ハンドルネーム、サイト名、ブログ名等を検索し、インターネット上における自分自身の評価を確認すること

「ゆでがえる」：蛙を熱湯に入れると直ちに飛び跳ねて脱出するのに対して、緩やかに昇温する水中に入れると、温度上昇に気づかず、ついに茹で上がって死んでしまうことから、環境変化に対応することの重要性を指摘する警句

「インフルエンサー」：他に影響力のある人や物のこと

「シンギュラリティ」：人口知能（AI）が発達し、人間の知性を超えることによって、人間の生活に大きな変化が起きるという概念（技術特異点）⇒AIが人間の脳を超える

更にわからないのが、若者言葉である。

言葉を略す、逆さに言う、ローマ字化して頭文字だけを並べたり、子音だけを言ったりするのが特徴らしい。SNS で使われていることが多い。いくつかの例を拾ってみた。



「いい波乗ってんね」、「ありよのあり」、「ワンちゃん」、「よきよき」、「すこ」、「あざる水産」、「好きピ」、「リアタイ」、「t k m k」、「wktk」、「イケボ」、「おくちよ」、「ぶたぎり」、「アチュラチュ」、「じわる」、「りよ」、「なうしか」、「ヤグる」……

ネット用語に比べて、推測出来ない、わからない。こういう言葉は、知らないし、使わないし、知りたくも、使いたくも、覚えたくもない。

言葉は、その時代の会的風潮・世相を反映すると謂われる。

今年で「平成」は終わり、5月から新しい元号となる。平成の時代で大きく変わったのは、通信技術の革新による情報社会だ。固定電話、公衆電話、ポケベル、携帯電話からスマホへ、更に「WINDOWS」の開発がネット通信の世界に広がり、通信会社のトラブルが、人々の生活に支障するまでになった。

SNS は、人と人の交流を手助け・促進するためのサービスであるが、時にはメールやツイッターではなしに、対面して語り合い、言葉以外の手振り、身振りのしぐさを入れ、心の通じ合う会話が必要と思う。

辞書から削除されたのは、「カセットデッキ」、「コギャル」、「ルーズソックス」等だそうだ。

時代が変われば、言葉も変わる。

平成31年度・本部定期総会報告事項

議事に先がけ30年度物故者(21名)への黙祷、続いてレイカディア賛歌斉唱、会長あいさつ、長寿者慶祝、来賓祝辞、議案審議(平成30年度事業報告・収支決算報告、平成31年度事業計画・収支予算)が行われました。

予定されていた三日月知事の記念講演が知事の急用により延期となりましたが、実施された場合の参加者は250名を超えていたとのことです。

長寿者慶祝対象者は34名(白寿2名、米寿32名)で、甲賀・湖南支部の対象者は次の3名の方々に、友野氏と宇留野氏が表彰式に参加されました。

友野 幸雄氏 26期 スポレク 湖南省

宇留野 可澄氏 21期 園芸 甲賀市

田畑 嘉重氏 18期 園芸 甲賀市

昨年度の活動の総括の概要は次の通りです。

“オールレイ大で未来へ向かって天翔ける”をキャッチフレーズに「地域貢献活動・組織活性化事業・広報事業・運営事務事業・自己研鑽事業」に会員自らが率先垂範する環境作りを目指したが、入会者の減少・会員の漸減・支部力の格差・学生募集に危機など課題が多く、取り巻く環境の多様性に対応していきたい。

本年度会長の「活動の基本方針」は、次の通りです。

- ・地域活動の担い手としての自覚を末永く持ち続けること。
- ・同窓会憲章を守り抜く伝統を息づかせること。
- ・社会的評価や認知度を高める活動に、先輩後輩相携えて取り組むこと。

又各部会の活動計画は、次の通りです。

#### 総務研修部会

本部定期総会の開催

無料必修講座の聴講：草津校、米原校で年1回

学長との懇談会開催

42期学生募集への協力(平和堂ちらし配布)

#### 広報情報部会

「會報」発行の見直し：予算半減に伴い、年2回A3カラーで発行

本部ホームページの見直し：運営方法の簡素化

ホームページ作成講習会の開催：各支部担当者のスキルアップ

#### 地域活動部会

地域活動の継続と拡大化：各種行事への参加、各支部との連携と支援

- ・コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン(6月16日 帰帆島公園)
- ・「美しい湖国をつくる会」(琵琶湖岸、河川の清掃)：各支部の実情に沿った活動
- ・「ゲームコンダクターへの登録」県内スポーツ行事へのボランティア(交通整理)

地域活動事例発表会の開催：11月中旬に開催の予定

(記：支部長 竹内 重行)



## 必見です！！

高齢者の交通事故多発傾向の現状に鑑み、レイカディア大学同窓会ホームページのトップ画面に、下記の情報が掲載されました。

1. 政府広報 : 「どうしたら防げるの？ 高齢者の交通事故」
2. 滋賀県警察 : 交通安全情報誌「ふれあい通信」「セフティメール」ホームページを見れる方は、是非ともクリックして一読をお願いします。



### 編集後記

平成から令和へ！ 新しい時代になって最初の「甲賀・湖南支部だより27号」をお届けします。

昭和・平成・令和と時代の変遷を考えると「昭和は遠くなりけり」の感慨に浸るとともに、寄る年波の速さにたじろいでいます。

当同窓会も4月総会で新体制となりました。初めての事業が過去2年間雨で流れた「ボランティア活動の日」。天候が心配でしたが新体制を祝うかのような好天気・無事終了しヤレヤレでした。(詳細は当通信記事をお読みください)

今年度から通信は年2回発行となります。その間の諸行事等は「インターネットのホームページ」で都度詳しく掲載していく予定です。

インターネット検索で「レイカディア大学同窓会」を入力、表示画面の「甲賀湖南支部」をクリックして見ることが出来ます。同窓会事業への参加よろしく願います。

<森井>